

活力 あふれる 元気 なまちづくり



青木みつる

後援会ニュース

発行 青木みつる後援会事務局 静岡県伊豆の国市大仁570 東芝テック労働組合伊豆支部内
TEL(0558)76-9796 FAX(0558)76-9834

令和2年 第2回(7月) 臨時会報告

令和2年第2回伊豆の国市議会臨時会は7月16日に開催され、「令和2年度伊豆の国市一般会計補正予算(第7号)」が原案どおり可決されました。

【議案】

◆令和2年度伊豆の国市一般会計補正予算(第7号)

〈補正額 196,000千円 総額 26,872,000千円〉

主な補正予算

- ・プレミアム付商品券事業 106,500千円
- ・地域観光推進事業 76,000千円
- ・防災関係備品管理事業 9,000千円
- ・地域公共交通推進事業 4,500千円

令和2年 第3回(9月) 議会報告

令和2年第3回(9月)伊豆の国市議会定例会は8月31日に開会し、9月30日までの31日間の会期で開催されました。

本定例会では、初日冒頭、小野市長より行政報告及び上程議案の一括提案理由の説明がされた後、市当局より令和元年度決算における伊豆の国市健全化判断比率及び資金不足比率の報告がされました。「令和元年度伊豆の国市一般会計歳入歳出決算の認定について」、「令和元年度伊豆の国市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」などの令和元年度各種会計の決算認定案件8件については、市当局から内容説明がされた後、所管の各常任委員会に付託されました。

その後、「伊豆の国市税条例等の一部を改正する条例の制定について」などの条例案件3件、「令和2年度伊豆の国市一般会計補正予算(第8号)」などの補正予算案件7件が提案され、全て原案通り可決されました。

最終日には、追加議案「伊豆の国市新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の制定について」、「令和2年度伊豆の国市一般会計補正予算(第9号)」、「財産の処分について」、「財産の無償譲渡について」が原案通り可決された後、各常任委員会に付託された決算認定案件8件が討論を経て認定されました。また、委員会提案「伊豆の国市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について」及び議員発議「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について」が可決されました。



〈令和元年度決算〉

(単位:千円)

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	
一般会計	24,580,819	23,695,053	885,766	163,380	722,386	
特別会計	国民健康保険	5,965,143	5,939,956	25,187	0	25,187
	後期高齢者医療	595,127	595,096	31	0	31
	介護保険	4,207,363	4,077,476	129,887	0	129,887
	楠木及び天野揚水場管理	17,186	14,951	2,235	0	2,235
	簡易水道等事業	139,883	122,986	16,897	0	16,897
	下水道事業	1,420,549	1,378,357	42,192	0	42,192

〈健全化判断比率〉

(単位：%)

判断比率項目	判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	13.10
連結実質赤字比率	—	18.10
実質公債費比率	7.0	25.00
将来負担比率	50.4	350.00

※実質赤字額、連結実質赤字額がないため「—」

〈資金不足比率〉

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
上水道事業会計	—	20.0
簡易水道等事業特別会計	—	20.0
下水道事業特別会計	—	20.0

※資金不足額がないため「—」

◆健全化判断比率は、全項目において早期健全化基準を超えるものはありませんでした。また、資金不足比率について、各公営企業会計に資金の不足額はなく、経営健全化基準を超えるものはありませんでした。

【主な議案】

I. 条例（4件）

- ◆伊豆の国市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- ◆伊豆の国市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆伊豆の国市韮山温泉館の設置、管理及び使用料に関する条例を廃止する条例の制定について
- ◆伊豆の国市新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の制定について

II. 補正予算（8件）

◆「令和2年度伊豆の国市一般会計補正予算（第8号）（第9号）」ほか6特別会計
一般会計の主な補正予算（補正額：705,000千円 総額：27,577,000千円）

(第8号)・基金管理事業（財政調整基金積立金）	361,192千円
・教育ICT利活用事業	203,661千円
・土木災害復旧事業（令和元年台風19号、令和2年7月豪雨）	41,200千円
・旧韮山庁舎解体事業	34,700千円
・芸術文化振興事業	△13,908千円
・緊急経済対策事業（宿泊・飲食事業者営業自粛等協力金）	△12,275千円
(第9号)・緊急経済対策事業（新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金積立金）	42,526千円
・市税一般事務管理事業	5,200千円
・会計事務管理事業	2,274千円

III. その他（2件）

- ◆財産の処分について（旧大仁市民会館跡地の静岡県への売却が決定したため）
- ◆財産の無償譲渡について（旧韮山温泉館の建物・物品を韮山源氏温泉協同組合へ譲渡）

IV. 委員会提案（1件）

◆伊豆の国市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について

V. 議員発議（1件）

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し
地方税財源の確保を求める意見書の提出について

議会改革調査検討特別委員会の報告

本9月定例会で、議会改革調査検討特別委員会（令和元年12月16日設置）より、2件の付議事項の調査・検討結果が報告されました。なお、青木みつる議員は、本特別委員会で副委員長を務めました。

(1) タブレット端末を導入した議会運営について

活用方法等の調査、導入効果や懸念事項の検討を進めてきたが、コロナ禍により事業者からのデモンストレーションや先進地への視察ができない状況となり、導入可否の判断ができないとの結論になりました。ただし、タブレット端末等のICT機器の導入は、新しい生活様式を踏まえた議会改革にも必要となる。また、行政側でもタブレット端末の導入を検討しているので、今後の動向を見ながら改めて検討することとなりました。



(2) インターネットを活用した動画配信について

配信方法や費用等を検討し、「開かれた議会、分かりやすい議会」を進めるため本会議の動画配信は必要であるとの結論になりました。

配信方法は、多くの方に視聴してもらうためにライブと録画配信を行うとの結論になりました。なお、配信環境は、専用システムの導入と無料映像配信サービス（YouTube）を利用する方法がありますが、既存マイクシステム機器が利用でき、録画された映像の検索機能が充実している専用システムが望ましいとの結論になりました。

青木みつるよりひとこと

伊豆の国市に秘められた可能性を最大限に引き出すため、みなさま一人一人の声を市政に発信し、みなさまと共に良いまちづくりを実現していきます！！



皆さまの声を今後の活動に活かします。
ご意見・ご要望を後援会事務所までご連絡ください。